

999 地盤情報システム(JISLaD)によって得られた最近の全国 GEONET 点速度ベクトル分布(2013.1~2015.6)

Recent velocity of all of the GEONET network sites obtained by the Japanese Information System of Land Deformations (JISLaD) (2013.1-2015.6)

#請井和之¹, 島田誠一^{1,2}, 新出陽平¹, 伊藤広和¹

1:株式会社日豊; 2: 東京大学新領域創成科学研究科

Kazuyuki Ukei¹, Seiichi Shimada^{1,2}, Yohei Shinde¹, Hirokazu Itoh¹

1: Nippo, co., Ltd.

2: Graduate school of Frontier Sciences, University of Tokyo

はじめに

株式会社日豊では、2008年以降毎日GAMITプログラムを用い、約1,300点の電子基準点の解析を行い、日毎の座標データを蓄積している (島田ほか,2014;2015)。それらのデータを用いることで、地盤情報システム(the Japanese Information System of Land Deformations ; JISLaD)として、全国で基線長、dilatationやひずみの変動の監視に利用しようと考えている。また、将来的には、GEONET点での変動から任意の点の変動速度を算出することも計画している。

今回、その前段階として、国土地理院のF3解から算出した変動速度と、今回の手法で算出した変動速度を比較し、その差違を求める。

手法・結果

島田ほか(2014)によるGEONET全点解析手法を用い、計算した毎日の全点解析解から、週値の解を計算した。週値の解から、2013年1月から2015年6月までのGEONET全点の速度ベクトルを算出した。週値の解を算出する際は、GLOBKを用いた。その結果を図1に示す。

ポスター発表の際は、同一期間の前後のF3解の差から求めた全国GEONET点の速度ベクトルを算出し、図1の速度ベクトルと比較する。

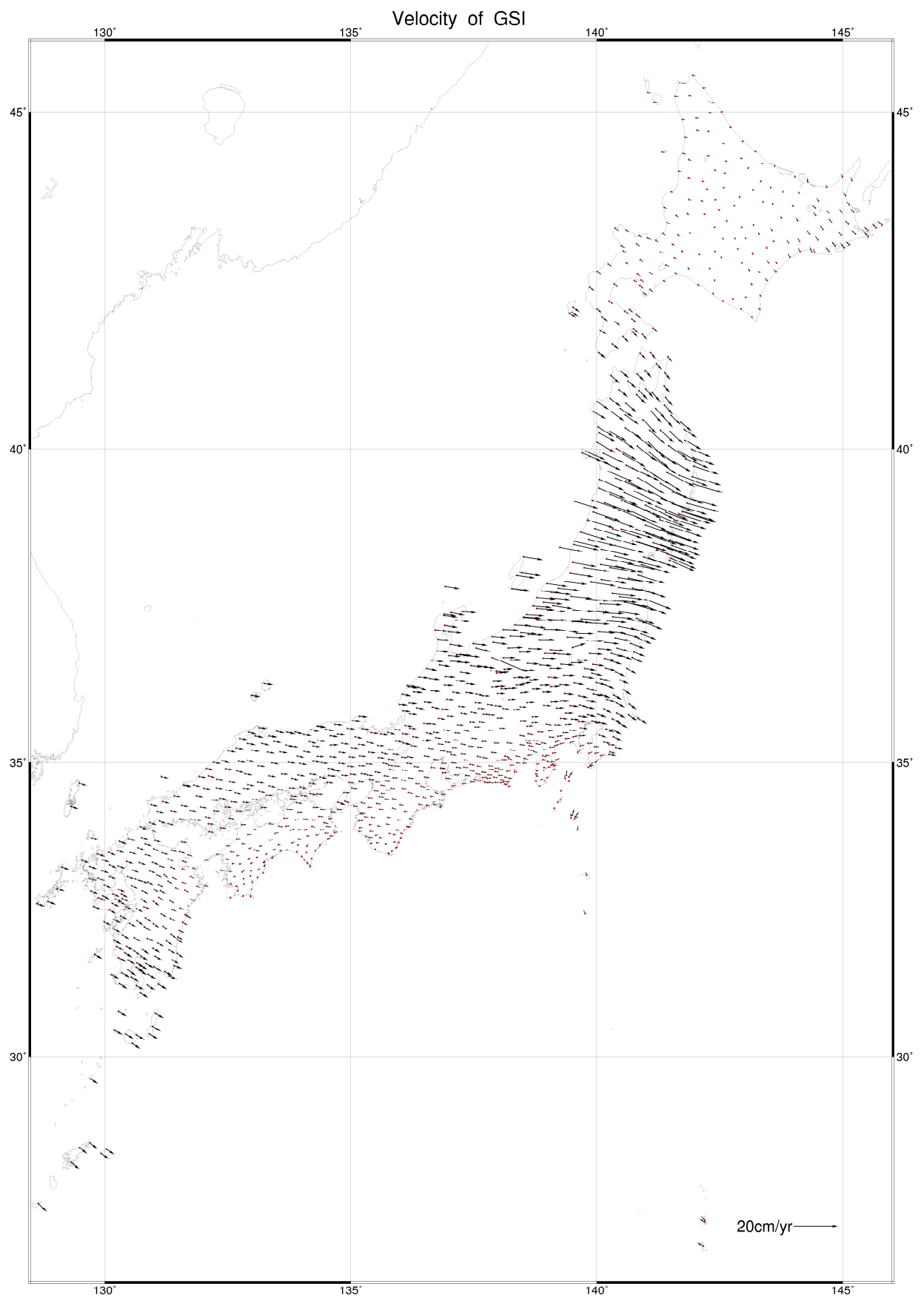


図1 GEONET全点の速度ベクトル(2013.1～2015.6)